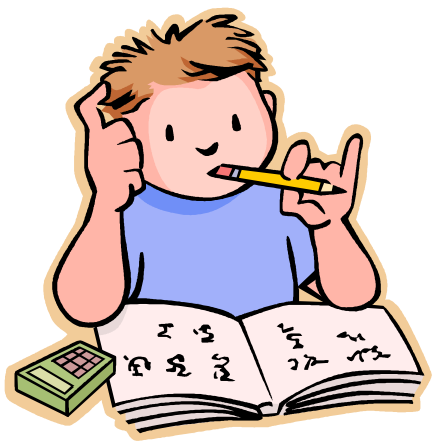


家庭学習のススメ

子供たちの健やかな成長を応援しましょう！

子供たちに「確かな学力」を身につけさせるために、家庭学習の充実が重要であると言われています。そこで、知立市学力向上研究推進委員会では、家庭学習の充実をねらい、「家庭学習のススメ」を作成しました。このリーフレットを活用して、子供たちが毎日自主的に家庭学習を進められるように、ご家庭でのご支援をお願いいたします。



家庭学習をがんばると・・・

- ①毎日復習することで、授業で学んだことがしっかり身につきます。
- ②予習をしておくで、授業がわかりやすくなり、発言が増えます。
- ③「できた」「わかった」という達成感が感じられるようになり、学校が楽しくなります。
- ④積極的にいろいろなことにチャレンジする姿勢が育ちます。

家庭でできることは・・・

①学習環境をつくること

- 学習する時間をつくりましょう。
- 整理整頓をしましょう。

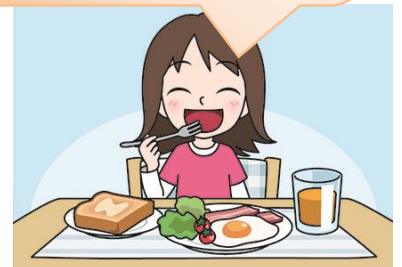
②学習できる体をつくること

- 早寝早起きを心がけましょう。
- 食事（特に朝食）に気を配りましょう。

③やる気を引き出すこと

- 元気にあいさつ、そして、楽しい会話をふやしましょう。
- 認め、褒め、励ますことを心がけましょう。

ごはん、パンなどは
頭のスイッチを入れます。
サラダなどは
腸を元気に目覚めさせます。



朝食をきちんと食べて、
よい1日のスタートを！

家庭学習を見直そう！

小学生の学習時間の目安
学年×10分+10分

1・2年生 まいにちじかんをきめてべんきょうしよう！

1年生 20分

2年生 30分

- まいにち、こえにだしてきょうかしょをよもう。
- まいにち、もじをかくれんしゅうをしよう。
- たしざん、ひきざんがしっかりできるように、なんどもれんしゅうをしよう。
- 2年生は、九九がしっかりいえるように、なんどもれんしゅうをしよう。
- 本をたくさんよもう。



おうちの方へ

習慣づけの1年生 自分から取り組む2年生

この時期の子供は、何でも知りたい、できるようになりたいという気持ちでいっぱいです。褒めて、認めることで子供はさらにやる気になります。

ただ、自ら進んで家庭学習に取り組むことはまだまだ難しいです。低学年の間は、できるだけ一緒に取り組むようにしましょう。そうすることで、家庭学習の習慣が付き、だんだんと進んで取り組めるようになります。

3・4年生 学校で習ったことを復習しよう！

3年生 40分

4年生 50分

- 毎日教科書を読んで、すらすら読めるようにしよう。
- 漢字の読み書きがしっかりできるよう、毎日練習をしよう。
- わり算・かけ算の筆算や小数・分数の計算がしっかりできるよう、何度も練習をしよう。
- 問題集やテストでまちがえたところを、もう一度やってみよう。
- 本をたくさん読もう。
- ことわざ・故事成語・慣用句をたくさん知ろう。
- きょう味のある新聞記事を読もう。

おうちの方へ



分岐点に立つ3年生 「9歳の壁」を乗り越える4年生

9歳前後の子供たちはさまざまな転換期を迎えます。幼少期には自分中心の世界にいた子供たちが、そこから抜け出し、他者との関わりやその存在を意識し始めるのがこの時期だと言われています。

学習に対して苦手意識をもつ子が、低学年のときに比べ増えてきます。ここで根気強く声をかけ励ますことで、家庭で学習する習慣がしっかり身についてきます。学校での様子を話題にするとともに、宿題や持ち物を時々点検するなどして、お子さんの学習への取り組みを応援しましょう。

5・6年生 粘り強く分かるまで勉強しよう！

5年生 60分

6年生 70分

- ・毎日教科書を読んで、内容を理解しよう。
- ・漢字の意味を調べたり、読み書きがしっかりできたりするよう、何度も練習をしよう。
- ・計算や文章の問題など、苦手なところもしっかりできるように、何度も復習しよう。
- ・練習問題やテストでまちがえたところを、できるまでやって確実に覚えよう。
- ・さまざまなジャンルの読書をしよう。(随筆・伝記・ノンフィクションなど)
- ・興味のある記事(新聞・雑誌・インターネット)をスクラップしたり、感想を書いたりしよう。

おうちの方へ



大きく伸びる5年生 中学校生活に希望がもてる6年生

この時期の子供は、少しずつ自我が目覚め、周囲に対して自分の考えを主張するようになってきます。心の成長や深まりが見え始めるこの時期だからこそ、以下のように温かく見守り、励ましましょう。

- ・お子さんの思いや考えを真剣に受けとめましょう
- ・他の子との比較ではなく、お子さんなりのがんばりを認めましょう
- ・「やればできる」と、ねばり強く励ましましょう。

中学生の学習時間の目安 学年×1時間+1時間

中学生 得意なことを伸ばし、苦手なことを克服しよう！

1年生 2時間

2年生 3時間

3年生 4時間

- ・定期テストをめぐりに計画を立て、見通しをもって学習に取り組もう。
- ・漢字の読み書き、重要語句(教科書の太字)が覚えられるように何度も書こう。
- ・計算問題は基本的な公式を覚え、速く正確に計算できるように何度も練習しよう。
- ・テストや練習問題でできなかった問題は自分でできるように何度も練習しよう。
- ・新聞のコラムを要約して読解力を高めたり、社説を読んで感想を書いたりし、考えをまとめる力をつけよう。

おうちの方へ



さらなる学力向上をめざす中学生

この時期の子供は、社会性が広がり、感受性が深まります。友達の言動や大人の対応には敏感です。特に自分が納得できないことや不公平な扱いに対しては、反発したり傷ついたりすることがあります。また、進路選択など、見えない将来への不安から心は揺れ動いています。

そこで、親として、家族として、以下のように支援していきましょう。

- ・結果だけでなく、努力している姿を認め、励ましましょう。
- ・子供の主体性を伸ばせるよう、長所を認めましょう。
- ・目先のことだけでなく、長い目で子供を見守りましょう。

我が家のチェックシート

子供



決まった時刻に勉強しています

毎日なるべく決まった時刻に勉強しましょう。これが習慣になると、学力アップにつながります。

目標を決めて取り組んでいます

「漢字を覚える」、「このページを〇分で終える」など、目標を決めるとやる気が出ます。目標が達成できると、次へのやる気も出てきます。やれることから、だんだんレベルアップしていきましょう。

テレビや音楽は消して勉強しています

「ながら勉強」は、頭に入りません。かえって時間がかかってしまいます。

机の上は整頓し、落ち着ける場所で勉強しています

勉強で使うものが整頓されていると、集中して勉強ができます。

体全体を使って学習しています

教科書を見ているだけでは、なかなか頭に入りません。声に出して読んだり、大切なことをノートに書いて何度も解いたりするなど、目、耳、口、手を使って学習すると、頭に入りやすくなります。

おうちの方



早寝早起きができています

元気にあいさつができています

朝ごはんをしっかり食べています

前日のうちに学校の準備ができています

勉強する時間を決めています

お手伝いなど家での役割があります

会話が多く、よく話をします（たくさん褒めています）